

グリーンエネルギーCO₂削減等計画書（実績）1 グリーンエネルギーCO₂削減計画（実績）1. 1 グリーンエネルギーCO₂削減計画の名称木質バイオマスを利用した発電によるCO₂排出削減1. 2 グリーンエネルギーCO₂削減計画に関わる設備（詳細）別紙 1 「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」 1. 参照。1. 3 グリーンエネルギーCO₂削減計画に適用される方法論

注 1) 本計画に適用される方法論にチェックすること。

チェック	種別方法論 番号	種別方法論名称
☐	P001	風力発電
☐	P002	太陽光発電
☐	P003-1	バイオマス発電（鶏糞、バガス等）
☐	P003-2	バイオガス発電
☒	P003-3	木質バイオマス発電
☐	P004-1	河川に設置する新設水力発電
☐	P004-2	既設設備等に付加して設置される水力発電
☐	P004-3	離島の河川に設置された既設水力発電
☐	P005	地熱発電
☐	H001-1	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（単独供給方式））
☐	H001-2	太陽熱（強制循環式給湯用ソーラーシステム（複数供給方式））
☐	H001-3	太陽熱（太陽熱利用セントラルシステム（給湯・暖房））
☐	H002-1	バイオマス熱（木質バイオマス熱利用システム）
☐	H002-2	バイオマス熱（木質バイオマス蒸気供給施設（熱電供給システム））
☐	H002-3	バイオガス熱
☐	H002-4	バイオマス熱供給施設
☐	H003	雪氷エネルギー（熱交換冷水循環式雪氷エネルギー施設）

1. 4 グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定

注 1) 「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法を記載すること。

注 2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の個別の値（実績）については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」3. 参照。

$$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$$

$$S_B = F_B \div F_T$$

$$E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{\text{electricity,t}}$$

記号	定義	単位
E _{BS}	木質バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	kWh
E _{BC}	木質バイオマス発電実施期間における自家消費電力量	kWh
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間における発電電力量	kWh
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間における発電補機消費電力量	kWh
S _B	投入燃料に占めるバイオマス比率	%
F _B	発電に使用した木質バイオマス燃料	MJ
F _T	発電に使用した燃料合計	MJ
E _{MB}	木質バイオマス発電実施期間における排出削減量	kgCO ₂
CE _F _{electricity,t}	木質バイオマス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh

1. 5 グリーンエネルギーCO₂削減計画の認証申請期間

開始日 2022年4月1日

終了日 2025年3月31日

注) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施期間については、別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト（実績）」5. に記載すること。

1. 6 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画からの変更項目

注) 変更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

あり

(1) 新東海製紙（株）島田工場発電所第5号発電設備

バイオマス発電実施期間における発電電力量のモニタリング方法の変更

(傍証としての計量器写真 → 傍証なし)

2 グリーンエネルギー運営・管理計画（実績）

2. 1 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者によるモニタリング方法及び報告方法

注 1) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業の実施者におけるモニタリング方法、及び当該実施者から運営・管理者への報告方法（体制）を記載すること。

注 2) 各グリーンエネルギーCO₂削減事業のモニタリング責任者及び実施者については別紙1「本計画におけるグリーンエネルギーCO₂削減事業リスト」4. 参照。

注 3) 認定グリーンエネルギーCO₂削減計画から変更された点がある場合はその旨記載すること。なお、変

更申請書を提出済の場合は、変更申請書提出後に変更した項目について記載すること。

(1) グリーンエネルギーCO₂ 削減事業実施者（発電事業者）

【1】 毎月末または毎四半期末において、モニタリング実施者およびモニタリング責任者にて、日報・月報・メーター写真・検針票・その他関連資料など、グリーン電力発電電力量を算出するために必要となる資料を作成する。

【2】 毎月初めまたは毎四半期初めにおいて、メール・FAX・郵送などにより、グリーンエネルギーCO₂ 削減事業実施者より運営・管理者へ報告する。

(2) 運営・管理者（証書発行事業者：日本自然エネルギー（株））

【1】 グリーンエネルギーCO₂ 削減事業実施者から受領したデータをもとに、各四半期のグリーン電力発電電力量を算出する。

【2】 算出したグリーン電力発電電力量について、検証機関による検証終了後、グリーンエネルギーCO₂ 削減相当量認証委員会事務局へ報告する。

なお、グリーン電力発電電力量の計量体制を様式3－2別紙添付に示す。

2. 2 モニタリングの対象及び方法

注1)「グリーン電力種別方法論」又は「グリーン熱種別方法論」の5. 算定根拠に係るモニタリング方法に掲げられている記号と、それに係る定義、単位、モニタリング方法を記載すること。

記号	定義	単位	モニタリング方法
E _{BS}	木質バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	kWh	検定済み電力計による計測、発電月報による確認
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	kWh	検定済み電力計による計測、発電月報による確認
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	kWh	電力計による計測又は補機容量に稼働時間を乗じた値
F _B	発電に使用した木質バイオマス	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
F _T	発電に使用した燃料合計	MJ	燃料計による計測又は燃料供給会社からの請求書をもとに算定
CE _{F_{elect}} ricity,t	木質バイオマス発電実施期間における電力の二酸化炭素排出係数	kgCO ₂ /kWh	デフォルト値を利用 $CE_{F_{electricity,t}} = C_{mo} \cdot (1-f(t)) + C_a(t) \cdot f(t)$ ここで、 t：事業開始日以降の経過年 C _{mo} ：限界電源二酸化炭素排出係数 C _a (t)：t年に対応する全電源二酸化炭素排出係数 f(t)：移行関数 $\begin{cases} 0 & [0 \leq t < 1\text{年}] \end{cases}$

			$f(t) = \begin{cases} 0.5 & [1\text{年} \leq t < 2.5\text{年}] \\ 1 & [2.5\text{年} \leq t] \end{cases}$
--	--	--	---

3 グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）

3. 1 グリーンエネルギーCO₂削減相当量保有予定者に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」1. 参照。

3. 2 環境価値が除かれた電気価値・熱価値の帰属先に関する情報

別紙2「グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画（実績）」2. 参照。

様式3-2別紙1 事業リスト

No	認定番号	1. 事業所に係る情報							2. 追加性に係る情報	3. グリーンエネルギーCO2削減率に関する情報										4. モニタリング（任意）に関する情報				5. 最終申請情報	
		1. 1 発電所名称	1. 2 発電所所在地	1. 3 型式	1. 4 設置容量	1. 5 運転開始 （予定） 年月日	1. 6 系統／自家消費	1. 7 受電地点特定番号 （22桁）	(a) 当該設備の建設における 主要な要素 (b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献 (c) 当該設備以外のグリーン電力の拡大に貢献	(参考) 申請期間における 全発電電力量 (kWh)※1	3. 1 発電電力量 EBG(kWh)	3. 2 販売電力量 EBS(kWh)	3. 3 補償消費電力量 EBA(kWh)	3. 4 自家消費電力量 EBO(kWh)	3. 5 木質バイオマス 燃料 FB(MJ)	3. 6 燃料合計 FT(MJ)	3. 7 バイオマス比率 SB(%)	3. 8 二酸化炭素 排出係数 DEF(electricity,t kgCO2/kWh)	3. 9 排出削減量 EMB(kgCO2)	3. 10 排出削減率 (tCO2)	4. 1 モニタリング責任者	4. 2 モニタリング実施者	5. 1 開始日 (yyyy年m月d日)	5. 2 終了予定日 (yyyy年m月d日)	
1	18-B3-001	高知おおと製材㈱エコ発電所 (2022年度)	高知県高岡郡大豊町川口字川口南2035番地1	抽気復水タービン	240kW	2013年10月1日	自家消費	—	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	280,654	280,650	0	107,636	173,014	—	—	100.00%	0.439	75,953	75	〃	〃	2022年4月1日	2023年3月31日	
2	18-B3-003	新東海製紙(株)鳥田工場発電所第5号発電設備 (2024年度)	静岡県鳥田市向島町4379番地	蒸気駆動式タービン発電機	20,600kW	2006年3月1日	自家消費	—	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	91,931,880	91,931,880	1,826,671	3,180,144	86,924,865	888,586,000	1,484,786,000	59.65%	0.435	22,629,158	22,629	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
3	17-B3-001	セイホクバイオマス発電所 (2024年度)	宮城県石巻市潮見町2番地1	蒸気駆動式タービン発電機	2,300kW	2005年9月1日	自家消費	212392800123596000000	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	12,244,170	12,244,170	469,359	1,086,535	10,668,276	486,399,000	486,509,000	99.98%	0.435	4,648,330	4,648	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
4	12-B3-015	石巻合板工業株式会社発電所 (2024年度)	宮城県石巻市潮見町4番地3	蒸気駆動式タービン発電機	3,000kW	1998年5月1日	自家消費	—	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	16,254,550	16,254,550	0	276,049	15,978,501	642,855,000	663,408,000	96.90%	0.435	6,735,177	6,735	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
5	12-B3-010	津別単独協同組合バイオマスエネルギーセンター (2024年度)	北海道網走郡津別町字遠奥168番地	蒸気駆動式タービン発電機	4,700kW	2007年2月1日	自家消費	119829615001186000000	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	25,684,660	25,684,660	3,707,250	744,091	21,233,319	—	—	100.00%	0.435	9,238,493	9,238	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
6	12-B3-013	日本ノボルン木質バイオマス発電所 (2024年度)	大阪府堺市堺区築港南町4番地	蒸気駆動式タービン発電機	6,500kW	2007年12月1日	自家消費	6010124000006400010900	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	34,520,730	34,519,653	717,618	3,465,201	30,336,834	720,758,702	722,762,651	99.72%	0.435	13,159,572	13,159	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
7	19-B3-001	いわき大王製紙バイオマス発電 (2024年度)	福島県いわき市南台4丁目3番6号	抽気復水タービン型発電機	7,760kW	1997年8月1日	自家消費	0219000000900000001170	(b) 当該設備のグリーン電力の維持に貢献	37,090,000	37,090,000	1,086,804	164,040	35,938,156	686,240,000	937,701,000	73.18%	0.435	11,409,253	11,409	〃	〃	2024年4月1日	2025年3月31日	
合計										67,691															

※1 申請期間における全発電電力量の内、一部の発電電力量について本申請の対象とするケースを考慮し、当該値を報告ください。
「申請期間における全発電電力量」＝「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証における申請発電電力量」の場合は、「3. 1 発電電力量 EBG(kWh)」と同値を記載ください。
（同期間において、重複したグリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請がなされていないか、チェックするために記載いただきます。）

		(参考) 申請期間における 全発電電力量 (kWh)※1	3. 1 発電電力量 EBG(kWh)	3. 2 販売電力量 EBS(kWh)	3. 3 補償消費電力量 EBA(kWh)	3. 4 自家消費電力量 EBO(kWh)	3. 5 木質バイオマス燃料 FB(MJ)	3. 6 燃料合計 FT(MJ)	3. 7 木質バイオマス比率 SB(%)	3. 8 二酸化炭素 排出係数 DEF(electricity,t (kgCO2/kWh)	3. 9 排出削減量 EMB(kgCO2)	認証可能電力量	
												認証可能電力量	認証対象電力量
高知おおと製材㈱エコ発電所 (2022年度)	認証可能熱電力量	280,654	280,654	0	107,636	173,016	—	—	100.00%	0.439	75,954	173,016	
	認証対象電力量(申請分)	280,654	280,650	0	107,636	173,014	—	—	100.00%	0.439	75,953	173,014	
新東海製紙(株)鳥田工場発電所第5号発電設備 (2024年度)	認証可能熱電力量	91,931,880	91,931,880	1,826,671	3,180,144	86,924,865	888,586,000	1,484,786,000	59.65%	0.435	22,629,158	52,021,054	
	認証対象電力量(申請分)	91,931,880	92,043,146	1,829,082	3,183,983	87,030,073	889,661,489	1,486,583,091	59.65%	0.435	22,658,547	52,084,017	
セイホクバイオマス発電所 (2024年度)	認証可能熱電力量	12,244,170	12,244,170	469,359	1,086,535	10,668,276	486,399,000	486,509,000	99.98%	0.435	4,648,330	10,685,817	
	認証対象電力量(申請分)	12,244,170	12,243,361	469,327	1,086,463	10,667,571	486,368,664	486,476,656	99.98%	0.435	4,648,024	10,685,111	
石巻合板工業株式会社発電所 (2024年度)	認証可能熱電力量	16,254,550	16,254,550	0	276,049	15,978,501	642,855,000	663,408,000	96.90%	0.435	6,735,177	15,483,167	
	認証対象電力量(申請分)	16,254,550	16,255,173	0	276,059	15,979,114	642,878,662	663,433,451	96.90%	0.435	6,735,436	15,483,761	
津別単独協同組合バイオマスエネルギーセンター (2024年度)	認証可能熱電力量	25,684,680	25,684,680	3,707,250	744,091	21,233,319	—	—	100.00%	0.435	9,238,493	21,233,319	
	認証対象電力量(申請分)	25,684,680	25,684,680	3,707,250	744,091	21,233,319	—	—	100.00%	0.435	9,238,493	21,233,319	
日本ノボルン木質バイオマス発電所 (2024年度)	認証可能熱電力量	34,520,730	34,520,730	717,637	3,465,269	30,337,604	720,778,000	722,781,000	99.72%	0.435	13,159,906	30,252,658	
	認証対象電力量(申請分)	34,520,730	34,519,653	717,618	3,465,201	30,336,834	720,758,702	722,762,651	99.72%	0.435	13,159,572	30,251,890	
いわき大王製紙バイオマス発電 (2024年度)	認証可能熱電力量	37,090,000	37,090,000	1,086,804	164,040	35,938,156	686,240,000	937,701,000	73.18%	0.435	11,409,253	28,228,169	
	認証対象電力量(申請分)	37,090,000	37,091,175	1,086,838	164,045	35,940,292	686,261,742	937,730,709	73.18%	0.435	11,409,615	28,229,000	

種別方法論名称： 木質バイオマス発電

発電所名称： 高知おおとよ製材㈱エコ発電所

1. 計量体制

計量体制(管理体制)	
(1)計量器維持・管理	
責任者	実施者
■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■
(2)データの測定	
責任者	実施者
■■■■■■■■■■	■■■■■■■■■■
■■■■ ■■■■	■■■■ ■■■■
(3)報告書の作成	
報告書作成者	■■■■■■■■■■ ■■■■ ■■■■
報告書最終承認者	■■■■■■■■■■ ■■■■ ■■■■
報告書受領者（証書発行事業者）	■■■■■■■■■■ ■■■ ■■■

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
E _{BS}	バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	対象無し	対象無し
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	検定済み電力計による計測	発電電力量メータ写真
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	補機定格出力に稼働時間を乗じた値	稼働時間メータ写真
F _B	発電に使用した木質バイオマス	助燃材不使用のため計測不要	助燃材不使用のため提出不要
F _T	発電に使用した燃料合計	対象無し	対象無し

種別方法論名称： 木質バイオマス発電

発電所名称： 新東海製紙(株)島田工場発電所第5号発電設備

1. 計量体制

計量体制(管理体制)	
(1)計量器維持・管理	
責任者	実施者
■■■■■ ■■■ ■■■	■■■■■ ■■■ ■■■
■■ ■■■ ■■■	■■■■■ ■■■ ■■
(2)データの測定	
責任者	実施者
■■■■■ ■■■ ■■■	■■■■■ ■■■ ■■■
■■ ■■■ ■■■	■■■■■ ■■■ ■■
(3)報告書の作成	
報告書作成者	■■■■■ ■■■■■ ■■■ ■■
報告書最終承認者	■■■■■ ■■■■■ ■■■ ■■■ ■■
報告書受領者（証書発行事業者）	■■■■■ ■■■ ■■■

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
E _{BS}	木質バイオマス発電実施期間における系統への逆潮流電力量	電力受給月報にて確認	電力需給月報
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電電力量	検定済み電力計による計測	電力作業需給月報 発電電力量メータ写真
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	補機定格出力に、電力作業需給月報により把握した稼働時間を乗じた値	電力作業需給月報
F _B	発電に使用した木質バイオマス	ボイラ作業月報にて確認。 バイオマス発熱量については、試験報告書等の値から「低位発熱量×バイオマス投入量」により算出する。	ボイラ作業月報

F _T	発電に使用した燃料合計	ボイラ作業月報月報にて確認。 助燃材発熱量（RPF・PS等）については、試験成績表等の値から「低位発熱量×投入量」により算出する。	ボイラ作業月報
----------------	-------------	--	---------

種別方法論名称： 木質バイオマス発電

発 電 所 名 称： セイホクバイオマス発電所

1. 計量体制

[illegible]

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
E _{BS}	木質バイオマス発電実施期間における系統への販売電力量	電気事業者の検針票にて確認	売電電力量の実績票（写し）
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電発電電力量	検定済み電力計による計測	発電電力量メータ写真
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	補機定格出力に稼働時間を乗じた値	稼働時間メータ写真
F _B	発電に使用した木質バイオマス	燃料使用月報にて確認。 バイオマス発熱量については、試験報告書等の値から	燃料チップ・A重油在庫表

		「低位発熱量×バイオマス投入量」により算出する。	
F _T	発電に使用した燃料合計	燃料使用月報にて確認。 助燃材発熱量（A重油については、試験成績表等の値から「低位発熱量×A重油投入量×比重」により算出する。	燃料チップ・A重油在庫表

種別方法論名称： 木質バイオマス発電

発電所名称： いわき大王製紙バイオマス発電所

1. 計量体制

計量体制(管理体制)	
(1)計量器維持・管理	
責任者	実施者
(2)データの測定	
責任者	実施者
(3)報告書の作成	
報告書作成者	
報告書最終承認者	
報告書受領者（証書発行事業者）	

2. モニタリング方法および提出書類

記号	定義	モニタリング方法	提出書類
E _{BS}	木質バイオマス発電実施期間における系統への逆潮流電力量	対象無し	対象無し
E _{BG}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電電力量	検定済み電力計による計測	タービン保安日誌 電力量計写真
E _{BA}	木質バイオマス発電実施期間におけるバイオマス発電補機消費電力量	補機定格出力に、タービン保安日誌により把握した稼働時間を乗じた値	タービン保安日誌
F _B	発電に使用した木質バイオマス	燃料使用実績にて確認。 バイオマス発熱量については、試験報告書等の値から「低位発熱量×バイオマス投入量」により算出する。	燃料使用実績
F _T	発電に使用した燃料合計	ボイラ作業月報月報にて確認。 燃料使用実績にて確認。	燃料使用実績

		助燃材発熱量（RPF等）については、試験成績表等の値から「低位発熱量×投入量」により算出する。	
--	--	---	--

グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画

発電所又は熱設備名称	高知おおとよ製材(株)エコ発電所
認定番号	18-B3-001

グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量(単位:tCO ₂)	75
販売電力量(kWh)	173,014

注1) 様式3-2別紙1「本計画におけるグリーンエネルギー CO₂削減事業リスト(実績)」販売電力量、及び排出削減量(tCO₂)の合計と一致させること。

注2)販売電力量(kWh)は、グリーン電力種別方法論の場合に記載すること。

[illegible][illegible]

グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画

発電所又は熱設備名称	セイホクバイオマス発電所
認定番号	17-B3-001

グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量(単位:tCO ₂)	4,648
販売電力量(kWh)	10,685,111

注1) 様式3-2別紙1「本計画におけるグリーンエネルギー CO₂削減事業リスト(実績)」販売電力量、及び排出削減量(tCO₂)の合計と一致させること。

注2)販売電力量(kWh)は、グリーン電力種別方法論の場合に記載すること。

1. クリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量保有予定者に関する情報		
1. 1 保有予定者名	1. 2 保有予定者住所	1. 3 保有予定量 (tCO ₂)
アサヒビール株式会社	東京都墨田区吾妻橋1-23-1	1,201
株式会社TBSテレビ	東京都港区赤坂5丁目3番6号	127
未配分		3,320
		4,648

[illegible]

グリーンエネルギーCO₂削減相当量配分計画

発電所又は熱設備名称	いわき大王製紙バイオマス発電所
認定番号	19-B3-001

グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量(単位:tCO ₂)	11,409
販売電力量(kWh)	26,228,169

注1) 様式3-2別紙1「本計画におけるグリーンエネルギー CO₂削減事業リスト(実績)」販売電力量、及び排出削減量(tCO₂)の合計と一致させること。

注2)販売電力量(kWh)は、グリーン電力種別方法論の場合に記載すること。

1. グリーンエネルギーCO₂削減相当量保有予定者に関する情報

1. 1 保有予定者名	1. 2 保有予定者住所	1. 3 保有予定量 (tCO ₂)
未配分		11,409
		11,409

2. 環境価値が除かれた電力・熱価値の帰属先に関する情報

[illegible]

検証結果報告書（実績）

2025 年 5 月 16 日

日本自然エネルギー株式会社
代表取締役社長 加藤 圭輝 殿

東京都千代田区神田須田町 1 - 2 5
JR 神田万世橋ビル
一般財団法人日本品質保証機構
理事 浅田 純男

一般財団法人日本品質保証機構は、日本自然エネルギー株式会社が作成した「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証申請書」（排出削減事業の名称：木質バイオマスを利用した発電による CO2 排出削減、日付 2025 年 4 月 28 日）について、「グリーンエネルギーCO2削減相当量認証制度運営規則」（202 年 3 月 7 日経済産業省・環境省）に基づいて独立の立場から検証を行った結果、別添「検証結果概要書」のとおり、全ての点において適正であると認めます。

検証結果概要書

一般財団法人日本品質保証機構

1. グリーンエネルギーCO2 削減計画の概要

グリーンエネルギーCO2 削減計画名	木質バイオマスを利用した発電による CO2 排出削減
グリーンエネルギーCO2 削減計画申請者名	日本自然エネルギー株式会社
事業実施場所	① 高知県長岡郡大豊町川口字川口南 2035 番地 1 ② 静岡県島田市向島町 4379 番地 ③ 宮城県石巻市潮見町 2 番地 1 ④ 福島県いわき市南台 4 丁目 3 番 6 号
事業の概要	① 高知おおとよ製材㈱エコ発電所 ② 新東海製紙（株）島田工場発電所第 5 号発電設備 ③ セイホクバイオマス発電所 ④ いわき大王製紙バイオマス発電
グリーンエネルギーCO2 削減相当量の計画	「グリーンエネルギーCO2 削減相当量配分計画」段階では保有予定者は未定で申請がされていたが、今回実績報告においては、様式 3-2 別紙 2 の配分計画（実績）のとおり
申請期間	2022 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日
方法論	$E_{BC} = E_{BG} - E_{BS} - E_{BA}$ $S_B = F_B \div F_T$ $E_{MB} = (E_{BS} + E_{BC}) \times S_B \times CEF_{\text{electricity},t}$

2. 検証結果

以下に示す実施した検証手続きの概要のとおり、本申請に基づく、グリーンエネルギーCO₂削減相当量については、「グリーンエネルギーCO₂削減相当量認証制度運営規則」に定める要件及び「方法論」並びに当機構が定めた「方法論に関する追加要件」に適合しているものと判断できる。

なお、詳細については「CO₂削減相当量検証結果一覧表」に示す。

3. 実施した検証手続きの概要

排出削減量の実績及びグリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量配分計画が示され、かつ当該内容が運営規則及び方法論に適合していること	- 排出削減量の実績は、様式3-2別紙1により確認でき、また、配分計画は、様式3-2別紙2により、排出削減相当量保有予定者及び保有予定量を確認でき、残りの実績量については配分予定なしを確認した。 - 排出削減量の算定において、事業開始日以降の経過年数が2.5年以上のため、方法論「3. 2電力排出係数のデフォルト値の考え方」に基づき、移行関数$f(t)$は2.5年以上であること、また自家消費分に付随する環境価値であることから全電源平均CO₂排出係数(受電端)を用い、また、種別方法論「P003-3木質バイオマス発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」の計画に基づき算定されていることを確認し適合しているものと判断できる。
認定グリーンエネルギーCO ₂ 削減計画、グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量認証申請書のとおり確実に電力量又は熱量が算定され、かつ算定された電力量又は熱量に基づき方法論に従って正確にグリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量が算定されていること	種別方法論「P003-3木質バイオマス発電 4. グリーンエネルギーCO₂削減相当量の算定方法」に基づき、計画申請時に提示されたモニタリング方法のとおり、申請者提出の資料により、別紙「CO₂削減相当量検証結果一覧表」のとおり算定結果を確認した。 以上より、今回の実施期間における算定結果は、方法論に基づいて、正確にグリーンエネルギー削減相当量が算定されていると判断できる。
グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量が適切に配分されていること	今回、グリーンエネルギーCO ₂ 削減相当量の配分先は様式3-2別紙2により確認でき、適切に配分されているものと判断できる。なお、「配分予定なし」については、グリーン電力証書制度における証書販売と本計画の差異により生じるものであり、問題ないものと判断する。
各グリーンエネルギーCO ₂ 削減事業が適切に管理され、モニタリング対象となる項目が正確に把握されていること	様式3-2グリーンエネルギーCO ₂ 削減等計画書(実績)「2. グリーンエネルギー運営・管理計画(実績)」に基づき、様式3-2別紙1添付のとおり、計量体制が実施されていることが提出資料により確認ができ、モニタリング対象項目も提出資料により正確に把握されていることが確認できる。
認定グリーンエネルギーCO ₂ 削減計画から変更され	新東海製紙(株)島田工場発電所第5号発電設備に発電電力量のモニタリング方法の変更あり。別途、計画変更の申請書にて内容確認を行っている。

た点（グリーンエネルギー CO2 削減事業の追加を含 む。）について、運営規則及 び方法論に照らし適切であ ること	
---	--

（添付資料）

- ・ 3. の各項目の根拠資料

【検証機関作成資料】

- ・ CO2 削減相当量検証結果一覧表

【申請者作成資料】

- ・ 様式 3-1、3-2、3-2 別紙 1、3-2 別紙 1 添付、3-2 別紙 2
- ・ 実績管理表
- ・ 電力量認証一覧